

インターネット社会の中で 自分で仕事を見つけていくことの大切さ

今の時代は、もはや説明不要のインターネット社会です。

多くの人のポケットの中にはスマートフォンが入っていますよね。

多くの仕事ではインターネットが一つの重要なツールとして活用されていますし、インターネットそのものが仕事に直結しているIT企業も数え切れないほどあります。

インターネットを用いていない会社は古いというイメージを持たれてもこれは仕方のないことです。

インターネットは会社などの組織の流れも大きく変えています。

終身雇用や年功による序列みたいなものを掲げている会社は、成長するという観点から見れば遅れていると言わざるを得ません。

今の時代で成長する会社というのは、年齢や組織の中でのキャリアなどを重視するのではなく、個々が持つ能力的な部分を重視し、それぞれの能力を組み合わせることで共に新しい時代に合ったプロジェクトを作り上げていける会社ではないでしょうか。

つまり、個々が努力し自分なりの武器というものを見つけていくことが大切な時代だということです。

そして、その武器を持つための一つのとても有力な方法として挙げたいのが、自分でネットの中で仕事を見つけていくことです。

難しい資格を取得するのももちろん武器になります。

しかし、ネットの中で仕事を見つけていくという方がとても近道だと思うのです。

インターネットには新しいビジネスがいくつも転がっています。

インターネットは、ビジネスをするために多額の初期費用や在庫が必要だという常識も覆してくれました。

インターネットで取り扱うデジタル商品はコンテンツと呼ばれ、その多くが実体を伴わないものです。

よって在庫が必要ないのです。

例を挙げれば、音楽、ゲーム、ソフトウェア、更には漫画、アニメ、小説もそうでしょう。

このエッセイもそうですし、こう言ったノウハウ物がもっと秩序立っていて、方法論が述べられ量も多くなってくると“情報商材”と呼ばれるものになります。

これらの商品を作るために必要なものには以下があります。

- ① ソフトウェア
- ② 情報（ノウハウ）

体験版はここまでです